2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社ライフドリンク カンパニー　　上場取引所　東
コード番号　　2585　　ＵＲＬ　https://www.ld-company.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）岡野　邦昭
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経営管理本部長　　（氏名）清水　大輔　　ＴＥＬ　06-6453-3220

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	36,234	26.4	3,944	11.5	3,577	3.0	2,294	△3.0
2026年３月期中間期	28,668	19.0	3,537	15.5	3,473	13.6	2,365	13.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,099百万円（△13.4%）　2026年３月期中間期　2,424百万円（26.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	44.20	44.14
2026年３月期中間期	45.26	45.21

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	59,220	17,851	30.1
2026年３月期	47,063	16,449	35.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　17,849百万円　2026年３月期　16,449百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	14.00	14.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	36.7	6,500	22.0	6,180	18.9	4,200	21.3	80.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）EBITDA　2027年３月期通期　　10,000百万円（32.8%）

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　6社　（社名）株式会社SDネクストほか５社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	52,329,809株	2026年３月期	52,328,609株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	402,776株	2026年３月期	440,628株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	51,903,256株	2026年３月期中間期	52,275,478株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、決算発表後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（連結範囲の重要な変更） …… 8
（企業結合等関係） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しの動きなどにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、原材料・資材価格の上昇や各種コストの増加を背景とした物価上昇、地政学リスクを含む不安定な国際情勢に加え、長期金利の上昇などの金融資本市場の動向などにより、先行きの不透明な状況が継続しております。また、国内飲料業界では、前期に続き原料茶葉価格の高騰及びその対策が課題となっております。

このような事業環境のもと、当社は「高品質で価格競争力を持った商品」の供給を強みとして、Nビバレッジ株式会社における新ラインの稼働や2026年１月に取得した生産拠点（群馬ビバレッジ株式会社）のフル稼働などを通じた生産量の拡大を図るとともに、販売先の確保に努めてまいりました。また、茶葉価格高騰に対応した価格改定の浸透に加え、物流効率の改善に取り組んでまいりました。さらに、D2C（※）モデルの拡張として、2026年４月１日付で、自動販売機事業などを営む株式会社SDネクストほか４社を子会社化し、自動販売機チャネルに参入いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は売上高が36,234百万円（前年同期比26.4％増）、営業利益が3,944百万円（同11.5％増）、EBITDA(営業利益＋減価償却費＋のれん償却額)が5,504百万円（同19.4％増）、経常利益が3,577百万円（同3.0％増）、親会社株主に帰属する中間純利益が2,294百万円（同3.0％減）となりました。なお、当社グループはドリンク・リーフ事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

※　D2C：「Direct to Consumer」の略。消費者に対して製品を直接販売するビジネスモデルのことを指します。

（２）財政状態に関する説明

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は19,281百万円で、前連結会計年度末に比べて3,463百万円増加しております。これは、主に「現金及び預金」が1,781百万円増加、「売掛金」が1,072百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産は39,939百万円で、前連結会計年度末に比べて8,693百万円増加しております。これは、主に「建物及び構築物」が3,752百万円増加、「機械装置及び運搬具」が2,392百万円増加、「のれん」が2,498百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は22,088百万円で、前連結会計年度末に比べて2,804百万円増加しております。これは、主に「買掛金」が569百万円増加、「短期借入金」が870百万円増加、「１年内返済予定の長期借入金」が1,043百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債は19,280百万円で、前連結会計年度末に比べて7,950百万円増加しております。これは、主に「長期借入金」が7,943百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は17,851百万円で、前連結会計年度末に比べて1,401百万円増加しております。これは、主に「利益剰余金」が「親会社株主に帰属する中間純利益」の計上に伴い2,294百万円増加、配当金の支払いに伴い726百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年５月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,561	5,343
電子記録債権	8	10
売掛金	5,942	7,014
商品及び製品	2,395	2,422
仕掛品	327	317
原材料及び貯蔵品	1,998	2,399
その他	1,612	1,805
貸倒引当金	△28	△32
流動資産合計	15,817	19,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,883	12,636
機械装置及び運搬具（純額）	10,512	12,905
土地	4,026	4,034
建設仮勘定	6,197	4,748
その他（純額）	373	1,183
有形固定資産合計	29,993	35,508
無形固定資産		
のれん	96	2,595
その他	181	770
無形固定資産合計	277	3,366
投資その他の資産		
繰延税金資産	161	361
その他	816	705
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	974	1,064
固定資産合計	31,246	39,939
資産合計	47,063	59,220

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,989	2,558
短期借入金	10,227	11,098
１年内返済予定の長期借入金	1,544	2,587
未払金	3,274	3,157
未払法人税等	1,078	1,376
賞与引当金	119	152
その他	1,050	1,157
流動負債合計	19,284	22,088
固定負債		
長期借入金	10,979	18,923
繰延税金負債	84	20
退職給付に係る負債	65	75
その他	200	262
固定負債合計	11,330	19,280
負債合計	30,614	41,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,138	1,138
資本剰余金	1,322	1,264
利益剰余金	14,328	15,896
自己株式	△1,000	△914
株主資本合計	15,789	17,385
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	658	464
その他の包括利益累計額合計	658	464
新株予約権	1	1
純資産合計	16,449	17,851
負債純資産合計	47,063	59,220

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自2025年４月１日 至2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自2026年４月１日 至2026年９月30日）
売上高	28,668	36,234
売上原価	15,570	20,320
売上総利益	13,097	15,913
販売費及び一般管理費	9,560	11,969
営業利益	3,537	3,944
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	3
受取補償金	8	12
補助金収入	16	13
持分法による投資利益	6	6
売電収入	－	20
その他	10	20
営業外収益合計	43	78
営業外費用		
支払利息	73	228
支払手数料	27	209
その他	6	7
営業外費用合計	107	445
経常利益	3,473	3,577
特別利益		
固定資産売却益	－	1
補助金収入	9	－
その他	－	0
特別利益合計	9	1
特別損失		
固定資産除却損	34	25
固定資産圧縮損	9	－
その他	－	0
特別損失合計	44	25
税金等調整前中間純利益	3,438	3,553
法人税、住民税及び事業税	1,164	1,293
法人税等調整額	△91	△34
法人税等合計	1,072	1,259
中間純利益	2,365	2,294
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	2,365	2,294

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自2025年４月１日 至2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自2026年４月１日 至2026年９月30日）
中間純利益	2,365	2,294
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	58	△194
その他の包括利益合計	58	△194
中間包括利益	2,424	2,099
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,424	2,099
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自2025年４月１日 至2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自2026年４月１日 至2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,438	3,553
減価償却費	1,065	1,489
のれん償却額	5	70
引当金の増減額（△は減少）	15	32
支払利息	73	228
固定資産売却損益（△は益）	－	△1
固定資産除却損	34	25
売上債権の増減額（△は増加）	△1,346	△860
棚卸資産の増減額（△は増加）	△227	△186
仕入債務の増減額（△は減少）	312	26
その他	828	1,053
小計	4,201	5,431
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△76	△242
補助金の受取額	15	14
支払手数料	－	△209
法人税等の支払額	△805	△1,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,337	3,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,459	△7,287
補助金の受取額	9	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△2,024
その他	△11	△105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,460	△9,416
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	3,016	544
長期借入れによる収入	1,930	9,693
長期借入金の返済による支出	△593	△2,207
リース債務の返済による支出	△98	△92
自己株式の取得による支出	△491	－
配当金の支払額	△627	△726
その他	△12	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,122	7,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	999	1,751
現金及び現金同等物の期首残高	3,014	3,561
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,013	5,313

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結範囲の重要な変更）

当中間連結会計期間において、新たに株式を取得した株式会社SDネクストほか４社、及び新規設立した株式会社PSボトラーズを連結の範囲に含めております。

（企業結合等関係）

１．企業結合の概要

(1)被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称	事業の内容
株式会社SDネクスト	グループ会社（自動販売機事業他）の経営管理及びそれに付帯する業務
株式会社SDボトラーズ	飲料水及び酒類の卸販売・小売・貿易、自動販売機の売買

(2)企業結合を行った主な理由

新たな直販チャネルの獲得による更なる事業基盤の強化

(3)企業結合日

2026年４月１日

(4)企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5)結合後企業の名称

変更はありません。

(6)取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率100％

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

２．中間連結損益計算書に含まれている被取得企業の業績の期間

2026年４月１日から2026年９月30日まで

３．被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	3,310百万円
取得原価		3,310百万円

４．主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用等　103百万円

５．発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1)発生したのれんの金額

2,569百万円

第１四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的な会計処理を行っておりましたが、当中間連結会計期間末に取得原価の配分が確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

(2)発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力によるものであります。

(3)償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

（重要な後発事象）

（吸収分割による事業承継）

当社は、2026年３月５日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社PSボトラーズを承継会社、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社（以下、「ポッカサッポロ社」）を分割会社とする会社分割(吸収分割)の方法により、ポッカサッポロ社が運営する自動販売機事業（以下、「本件事業」）を承継すること（以下、「本吸収分割」）について決議すると共に、同日付でポッカサッポロ社との間で吸収分割契約を締結し、2026年10月１日付で事業の承継が完了いたしました。

１．企業結合の概要

(1)吸収分割会社の名称及びその事業の内容

吸収分割会社の名称　ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

承継する事業の内容　同社が運営する自動販売機事業

(2)企業結合を行った主な理由

新たな直販チャネルの獲得による更なる事業基盤の強化

(3)企業結合日

2026年10月１日

(4)企業結合の法的形式

株式会社PSボトラーズを承継会社とし、ポッカサッポロ社を分割会社とする吸収分割方式

(5)本吸収分割後の状況

変更はありません。

(6)本吸収分割に係る割当ての内容の根拠及び理由

本件事業の業績の状況や資産・負債の状況等を総合的に勘案し、両社間で協議を行った結果、合意に至りました。

２．本吸収分割に係る割当の内容

吸収分割の分割対価として、株式会社PSボトラーズよりポッカサッポロ社に対して500百万円の金銭を交付いたしました。

３．主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用等　34百万円

４．発生したのれんの金額、発生原因、償却期間

現時点では確定しておりません。